



こんにちは！本ニュースレターでは、担当が実際に見た活動の様子やその工夫をお届けいたします。どうぞご一読いただき、みなさまの活動の参考としていただければ幸いです。感想もお待ちしております！

## Theme 低年齢からのルールづくりを！ ～幼稚園の保護者会における啓発活動～

今や、0歳児の約12%、3歳児では60%以上がインターネットを使用しているという調査結果があります。

(こども家庭庁「令和7年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」)

そんな利用の低年齢化を受け、県では令和6年度に乳幼児保護者向け啓発資料を作成しました。今年度は、スマホルールアドバイザーの広報を幼稚園・保育園等にも広めています。

県が園からの要望を直接伺い、内容に適したアドバイザーの皆様へ個別に活動を依頼・調整することで、園での啓発活動を支援しました。



第2回は、幼稚園の保護者会で行った啓発活動を2つご紹介します。

### 焼津市 村井 智明さん

一般社団法人てらこや千聚の理事を務める一方で、人づくり推進員、家庭教育支援員としても活躍されています。

### 裾野市 古地 剛さん

地域学校協働活動推進員を含めた18個ものボランティア活動を行うなど、様々な場面で活躍されています。

#### 活動のポイント

- ①「否定」ではなく「共感」から入る、保護者に寄り添う姿勢
- ②根拠あるデータとキャッチーな言葉の組み合わせ
- ③「今日からできること」を具体化させる工夫

### Topic 01 焼津市立静浜幼稚園下藤分園

#### 『今日からできること』を保護者自身が発表！

市の通訳者の協力も得ながら、外国籍の方を含む保護者へ「スマホはご褒美ではなく道具」と、印象的なフレーズで伝えていました。

また、一方的な啓発ではなく、問いかけや発表の時間を設けることで、保護者を「受け身」にさせない工夫が随所にありました。

最後に「今日からできること」を一人ずつ発表してもらうことで、保護者自身の「当事者意識」へとつながる温かい活動となりました。



### Topic 02 裾野市立須山幼稚園

#### 「禁止ではなく工夫」を合言葉に。不安を安心へ

「私自身、スマホ動画に育児を助けられた」と、同じ親としての経験を語ることで、保護者の緊張を解き、寄り添う姿勢を大切にされていました。

日常の不安を共有しながら、具体的な声かけのフレーズが詰まった資料を配布していました。

「夫にも聞いてほしい」という声上がるほど、日頃の漠然とした不安を解消し、改めて家庭での向き合い方を振り返る貴重な時間となっていました。



### Summary 担当より ～活動見学を通じて感じたこと～

今回の2園の事例を通じ、スマホ利用の低年齢化が進む中で、幼稚園段階からの啓発の重要性を強く実感しました。

印象的だったのは、どのアドバイザーも「保護者を否定しない」姿勢を徹底されていたことです。育児の現状を認めつつ、その上で「賢く使うための道具」としての付き合い方を提案されていました。

園長先生の「今は判断力を鍛える時期」という言葉の通り、ルールの根底にあるのは親子の会話です。皆様の多様な経験を活かしたアプローチが、家庭の扉を優しく開く鍵になっていると感じました。

#### ～お知らせ～

啓発活動で使えるワークシートを新たに作成しました。

- ・デジタル配布：右の二次元コードからDLください。
- ・紙での配布：印刷済みの用紙が必要な方は、ご希望の部数をお送りします。



#### ●編集・発行

静岡県教育委員会社会教育課

スマホルールアドバイザー

検索

